



西藤島小だより



☆学校教育目標 「やってみよう」の西藤島

～主体的に考え、多様性を認め合い、チャレンジを続ける児童の育成～

☆めざす児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

令和7年6月12日

第12号

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776)22-8820 FAX (0776)22-6809

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> MAIL ni-fu-e@fukui-city.ed.jp

太巻きずしづくり、とっても楽しかった！（3年生）

今年度も、地区社会福祉協議会からのお声がけがあり、3年生が「太巻き寿司づくり」に参加しました。6月4日の午後、公民館には、社会福祉協議会の方々、デイホームに参加しているの方々のご指導のもと、一人1本作りました。優しく丁寧に作り方を教えていただき、またいろいろな方とふれ合うことができて、子どもたちはとても喜んでいました。お礼のかわりに「にじ」の歌と手紙、折り紙のをプレゼントをすると、またまた笑顔と



大きな拍手をいただき、子どもたちは、「参加してよかった」「楽しかった」と言って学校に帰ってきました。お知り合いになれた地区の方々と、これを機会にまたどこかでお会いしたとき、子どもたちの方からご挨拶ができるといいなと思っています。皆様、ありがとうございました。



食の指導（6年生）

今年度も、各クラス1回程度、食に関する指導を行っています。福井市給食センターから明間栄養教諭においでいただき、今回は、6年生2クラスが「カルシウムのはたらき」について指導を受けました。



児童朝礼（校長の話より）

6月6日、6月の児童朝礼を行いました。その中で、校長からは「見つける・気づく」という話をしました。

子どもたちを見ていると時々、なんとなくぼんやり過ごしてもったいないと思うことや、大切なことを感じたり考えたりしてほしいことを「あたりまえ」とか「ふつう」と感じているのではないかなと思うことがあります。例えば、中庭で次々に咲く花々から季節を感じたり、お世話している人への感謝の気持ちをもったりしているかということ。進んで仕事やお手伝いをしている人を見たとき「ありがとう」とか「自分もやってみよう」と思ったりしているかということ。

子どもたちには、①見つける・気づく ②思う・考える ③動く・話す ことについて話しました。まずは、「見つける・気づく」ことができるといいですね。そして、そのことについて考えたり思ったりしたことを人に話したり、自分ができることをやってみたり・・・そうすることが、「し・あ・わ・せ」をすることとつながり、「わたしもあなたもしあわせ」にもつながっていくのではないかな。そのような話をしました。もちろん、①②③と順番を示さなくても、ごく自然にできている児童もいると思います。ですが、もう少し意識してやってみることで、今まで見えなかったことが見えたり、やってみようとするが増えたりすることもあるのではないのでしょうか。

校内研修・校内研究をしています。

子どもたちが下校した後、私たち教員は、校内研修・校内研究等の時間を設けています。

6月9日は、「救急法」をテーマに AED の使い方や人工呼吸の方法について、外部講師をお招きして学びました。プール学習が始まる前に毎年行っていますが、今年も、全員が真剣に取り組み、新たな気づきや学びがありました。プール学習時に限らず AED を使う必要性が生じる事案はいつ起こるか分かりません。そのときに備えて、子どもたちの安全・安心を第一に考え、迅速に適切に動くことができるように繰り返し研修を行っていきたいと思います。

校内研究としては、授業づくりと学級づくりの両方に重きを置いて、子どもたちが主体的に考えて取り組み、力をつけていく方法について話し合ったり、講師の方をお迎えして学び合ったりしています。



救急法の研修の様子



「道徳の授業づくり」についての研修会の様子